



京葉銀行

ミニディスクロージャー誌

2021

2022年3月期 営業の中間ご報告



目指す銀行像



お客さまに
信頼と利便性、
高い満足度を提供する
魅力のある、
活力あふれる銀行

Contents

- 1 目指す銀行像
- 2 当行のプロフィール
- 3 トップメッセージ
- 4 第19次中期経営計画

京葉銀行のここに注目

5 KEIYO TOPICS

京葉銀行のSDGs

- 7 京葉銀行グループSDGs宣言
- 9 地域経済・社会への取り組み
- 11 ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み
- 13 環境保全への取り組み

京葉銀行の業績等のご報告

- 15 2021年9月期 業績のご報告(単体)
- 16 財務諸表(単体)
- 17 株主の皆さまへ



2021年7月より、伊能忠敬をブランドキャラクターに起用!

一步一步、日本地図を作り上げた
千葉県出身の偉人、伊能忠敬のように
当行も「一步一步、未来の地図を作りたい。」
という思いで採用しています。

当行のプロフィール



設立
1943年3月31日



従業員
2,028名

名 称 株式会社京葉銀行

預 金 5兆113億円

英 文 名 称 The Keiyo Bank, Ltd.

貸 出 金 3兆8,353億円

資 本 金 497億円

自己資本比率 単体 11.31%
(国内基準) 連結 11.35%

本 店 千葉市中央区富士見1丁目11番11号

千葉みなと本部 千葉市中央区千葉港5番45号

格 付 A⁻(S&Pグローバル・レーティング)
A⁺(株式会社日本格付研究所)

総 資 産 6兆8,880億円

(2021年9月30日現在)

拠点 (2021年9月30日現在)

千 葉 県 内	118カ店	・外貨両替出張所	3カ所
(うち出張所)	2カ店	・店舗外ATMコーナー	144カ所
東 京 都 内	3カ店		
インターネット支店	1カ店		
計	122カ店		

役員の状況 (2021年9月30日現在)

取締役

取締役頭取(代表取締役) 熊谷 俊行
取締役副頭取(代表取締役) 橋本 清

取締役 専務執行役員
秋山 智

取締役 常務執行役員
市川 達史

社外取締役
齋藤 康

取締役 常務執行役員
藤崎 一男

社外取締役
秋山 勝貞

取締役 常務執行役員
佐藤 聖治

社外取締役
内村 廣志

社外取締役
戸部 知子

監査役

常勤監査役
高橋 弘一

常勤監査役
禊田 一浩

社外監査役
小野 功

社外監査役
花田 力

社外監査役
岩原 淳一

トップメッセージ



確かな“きずな”を、未来へ。

取締役頭取

熊谷俊行

平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症によりさまざまな影響を受けられている皆さまに心よりお見舞い申し上げます。併せて、社会・経済活動を維持するためにご尽力をいただいている全ての皆さまに心から感謝申し上げます。

わが国の経済は、一部企業の生産活動などに改善の兆しがみられましたが、対面サービス業を中心に厳しい状況が続いているほか、半導体などの供給制約の影響が懸念されるなど、未だ先行きの不透明感は拭えておりません。

一方、コロナ禍を経て、ライフスタイルの多様化やデジタル技術の活用など不可逆的な変化が加速しているほか、ワクチン接種の進展を踏まえた、社会・経済活動の正常化への模索が続いております。

このような環境下、当行はコロナ禍で影響を受ける企業への資金繰り支援はもとより、企業や地域社会の課題解決へのサポート、あるいはウィズコロナ・アフターコロナを踏まえて変化するお客さまの行動様式への対応、さらには社会的要請ともいえるESG・SDGsにかかる取り組みなど、地域金融機関としての社会的使命と責務をしっかりと果たし、地域のお客さまとの「確かな“きずな”を未来へ。」と繋げてまいります。

また、当行では本年4月より第19次中期経営計画「α ACTION PLAN 2024～さらなる進化～」をスタートさせております。計画初年度である2022年3月期の中間決算は、資金利益および役務取引等利益が順調に推移したほか、与信関連費用の抑制などにより当初の計画を上回る経営成績となりました。これもひとえに、皆さまの温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。なお、これにより1株当たりの中間配当金を前年比1円増配の10円とさせていただくとともに、通期の業績予想と期末配当予想を上方修正いたしました。

中期経営計画の副題である「さらなる進化」には、従来からの取り組みを本計画で新たなステージに進化させることで、地域のお客さまとともに「成長の好循環」を生み出す、こうした当行の姿勢、意思が込められています。今後も本計画の着実な実行を通じて、全てのステークホルダーの皆さまのご期待にお応えできるよう、京葉グループ役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月

第19次中期経営計画

α ACTION PLAN 2024

～さらなる進化～

計画期間 2021年4月～2024年3月

3つの基本戦略

課題解決型営業の強化

地域社会やお客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業を強化します。

生産性の向上と人財の育成

デジタル技術を活用し、当行とお客さま双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。

経営基盤の強化

リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

目標とする経営指標 (2024年3月期)

親会社株主に帰属する当期純利益

80 億円

自己資本比率 (連結)

11 %程度

OHR (単体)

60 %台

KEIYO TOPICS

お客様の課題解決に向けた取り組み

▶ りそなHDとの業務提携

2021年8月、当行と同じく首都圏に強固な基盤を持つ株式会社りそなHDと戦略的業務提携に関する協定を締結いたしました。デジタル・ソリューション・人財育成の3つの分野において、情報・ノウハウを相互に活用し、地域の皆さまの更なる利便性と生産性の向上を図るとともに、両社の企業価値の向上を目指してまいります。さまざまな金融サービスを通じて、最適なソリューションをお届けすることで、お客様の課題解決に取り組んでまいります。



▶ 「アルファバンクビジネスマッチングシステム」の運用開始

2021年10月より、リンカーズ株式会社が提供するビジネスマッチングシステムを首都圏で初めて導入しました。本システムの導入により、お客様のビジネスニーズがデータベース化され、より高精度かつスピーディーな提案が可能となり、成約確度の高いビジネスマッチングが期待できます。また、デジタルを活用することで、当行とお客様双方の生産性向上につなげてまいります。

地域の安全への貢献

▶ 警察と連携した取り組み

日頃から地元警察と連携し、地域の安全を守っております。



「飲酒運転根絶宣言」を実施



支店にて振り込め詐欺を防ぐ



1日警察署長として
電話de詐欺の注意喚起

利便性向上への取り組み

▶ 来店不要のオンライン相談を開始

2021年9月、お客様のパソコンやスマートフォン端末からご参加いただける「オンライン相談サービス」の取り扱いを開始しました。「年金相談」および「相続相談」をオンラインで実施することで、当行からお客さまへ一層の安心・便利をお届けするとともに、きめの細かいコンサルティングを提供してまいります。

▶ 来店予約サービス開始

2021年8月、一部の店舗を対象に「来店予約サービス」を導入しました。当行ホームページの予約サイトから事前に来店予約ができ、待ち時間の短縮や店内の混雑緩和を図るとともに、お客さまに一層充実したコンサルティングを提供してまいります。

▶ コールセンター対象店舗拡大

2021年4月よりコールセンターを設置し、専門性の高い本部のオペレーターによる電話対応を開始しています。11月現在、115店舗を対象を拡大しており、より一層のサービス向上につなげてまいります。

地域活性化への貢献

▶ カレンダー画家展寄付贈呈

2021年7月、当行のカレンダーに挿画として採用した若手画家19名の現在を、当行のカレンダーの歴史20年を節目として振り返る「京葉銀行カレンダー画家展《きずな》」を東武百貨店船橋店と開催いたしました。その収益の一部を地域の芸術・文化振興に役立てていただくため、千葉県へ30万円寄付しました。



▶ 内定式で地産地消

2021年10月、オンラインで開催した内定式後の懇親会で、「地産地消」の観点から県産の食材を使った軽食と飲み物を用意し、内定者は「千葉で働き地域貢献していく」という意識を高めました。



京葉銀行グループSDGs宣言

重点項目

1

地域経済・社会

お客さまや地域の課題解決を支援することで、地域経済の発展に貢献してまいります。

対応する主な目標



重点項目

2

ダイバーシティ&インクルージョン

個人の多様性を尊重し、誰もが仕事や生活を充実させ、自分らしく活躍できる社会づくりに貢献してまいります。

対応する主な目標



重点項目

3

環境保全

社会全体の環境負荷低減と環境保全に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指してまいります。

対応する主な目標



京葉銀行グループ
SDGs宣言

▶ SDGsとは？

人類は、貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇など、数多くの課題に直面しています。このままでは、安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまう…そんな問題意識から、国連において、すべての人々にとってより良い世界をつくるために課題を整理し、採択された「2030年までの達成を目指す17の目標」が、「持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）」です。



京葉銀行グループは、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同し、次に掲げる重点項目に全役職員が主体的に取り組むことで、地域の持続的成長の実現を目指してまいります。

SDGsの主な取り組み

重点項目	主な取り組み	SDGs目標	取り組みの詳細	参照頁
地域経済・社会	本業を通じた地域・社会貢献	8	事業承継ファンドの設立 「京葉銀行SDGs寄付型私募債」を通じた寄付	P.9-10
	自治体との連携	8, 11, 17	被災地応援プラットフォームの導入 京葉銀行グループが四街道市のキャッシュレス化をサポート	
ダイバーシティ&インクルージョン	多様な人材が活躍できる環境整備	8, 10, 17	Thanksカードの活用 シニアスタッフ行員制度	P.11-12
	ワークライフバランスの充実	3, 4, 5, 8, 10	フレックスタイム制度 副業・兼業 メディカルケア休暇・チャイルドプラン休暇 男性の育児参加の推進	
環境保全	環境に配慮した取り組み	11, 12, 17	フードロス削減につながるイベント開催 千葉みなと周辺清掃活動	P.13-14
	千葉大ecoプロジェクト	2, 11, 12, 13, 14, 15, 17	マイストローの販売 千産千消リーフレット配布 竹林整備体験事業の実施	



SDGs宣言

地域経済・社会への取り組み

お客さまや地域の課題解決を支援することで、地域経済の発展に貢献してまいります。



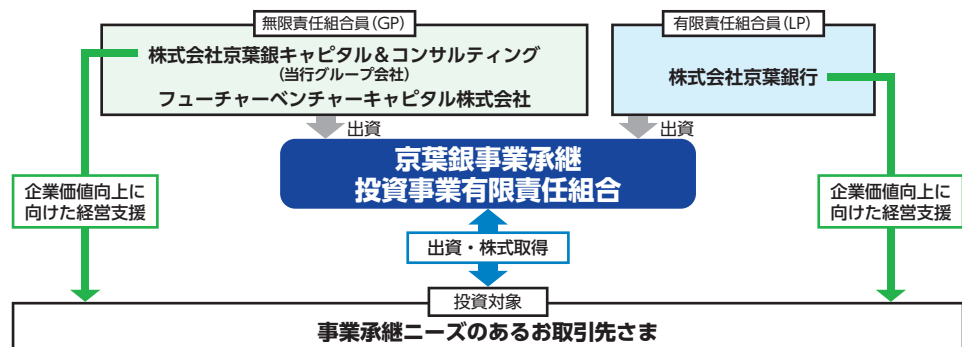
本業を通じた地域・社会貢献



地域金融機関としての金融仲介機能とネットワークを活かし、地域活性化や社会貢献に取り組んでいます。

▶ 事業承継ファンドの設立

2021年7月、株式会社京葉銀キャピタル&コンサルティング、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社との共同で、事業承継の課題を解決する「京葉銀事業承継投資事業有限責任組合」を設立しました。当行は本ファンドを通じて、多様な事業承継ニーズにお応えしていくほか、投資による資金供給やコンサルティングなどの経営支援を行うことで、地域の雇用維持や経済活性化を後押し、サステナブルな発展に貢献してまいります。



▶ 「京葉銀行SDGs寄付型私募債」を通じた寄付

当行が私募債の発行企業さまから受け取る手数料の一部を抛出し、医療・教育・地方公共団体等に寄付を行うもので、発行企業さまが寄付先を指定することができます。2021年上期は累計発行企業数51社、寄付額876万円となりました。(取扱開始以来累計:発行企業数138件、寄付額2,028万円)



自治体との連携



当行は自治体と協力して、お客さまや地域の課題解決に取り組んでいます。

▶ 被災地応援プラットフォームの導入

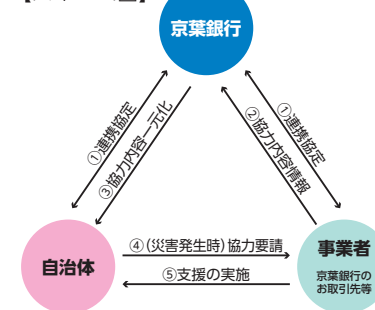
2021年9月、四街道市、香取市、株式会社テックコーポレーション、株式会社ウィードをパートナーとして、「アルファバンク被災地応援プラットフォーム^(※)」を導入しました。11月には、株式会社佐藤ケミカルも参加しました。

災害が発生した際に事業者と各自治体が一連の連携を図ることで、迅速かつ安定的に支援物資を提供でき、地域への貢献が期待されます。

(※)台風や地震などの自然災害発生時、避難所などで必要となる支援物資を自治体が円滑に調達できる仕組み



【スキーム図】



▶ 京葉銀行グループが四街道市のキャッシュレス化をサポート

2021年10月、当行と株式会社京葉銀カードは、四街道市市役所窓口でのキャッシュレス決済の導入を支援しました。キャッシュレス決済端末の設置により、市民の皆さまの利便性向上を図ります。また、同端末を利用して先進的なアプリを搭載することによって、業務の効率化とコスト削減を実現いたしました。





SDGs宣言

ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み

個人の多様性を尊重し誰もが仕事や生活を充実させ、自分らしく活躍できる社会づくりに貢献してまいります。

ワークライフバランスの充実



行員一人ひとりが仕事と家庭の両立をし、柔軟な働き方ができるよう制度の充実に努め、自らの価値観を大切にしながら就労を継続できるよう支援しています。



多様な人材が活躍できる環境整備



多様な価値観をもつ行員が個々の能力を最大限に発揮し、いきいきと働ける環境整備を進めています。

▶ Thanksカードの活用

行員同士でのコミュニケーション強化・個々のモチベーション向上のため、お互いを認め合い、誰もが働きやすくなるよう、褒める文化の構築を目指し、Thanksカードを活用しています。行員同士のやりとりの枚数に応じて社会貢献活動に寄付も行っています。



▶ シニアスタッフ行員制度

働く意欲のある行員を70歳まで継続雇用しています。培った知識や経験を活かし、後輩のよき手本となる指導者や金融市場における専門家として、2021年9月末現在、73名のシニアスタッフ行員が活躍しています。

▶ フレックスタイム制度

勤務時間に幅をもたせるフレックスタイム制度で、お客さまのご都合に合わせた面談等が可能です。また、行員の自律性を高め、ワークライフバランスを促進させることで、生産性の向上につなげてまいります。

▶ 副業・兼業

行員に学びと挑戦の機会を提供するため、副業・兼業を認めています。主体的なキャリア形成や新たなスキルの獲得、地方創生事業との関わりにより、お客さまそして地域へ貢献してまいります。

▶ メディカルケア休暇・チャイルドプラン休暇

病気と仕事、不妊治療と仕事の両立をしやすいするための制度です。検査や通院のために有給休暇を取得することが認められています。

▶ 男性の育児参加の推進

男性行員の育児参加の推進のため、育児休業の一部有給化や取得可能期間の長期化など、制度を充実させています。また、時短勤務トライアルの実施や、他社に勤務するパートナーも参加できる夫婦参加型のセミナーの開催により、意識改革も図っています。



▶ 京葉銀行のSDGs



SDGs宣言

環境保全への取り組み

社会全体の環境負荷低減と環境保全に取り組み、
低炭素・循環型社会の実現を目指してまいります。



千葉大ecoプロジェクト



本プロジェクトでは、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、「地域の環境負荷削減と環境意識の向上に貢献したい」との想いで、千葉県内の多くの皆さまを対象に、環境啓発活動を実践しています。

▶ マイストローの販売

2021年7月、学生がデザインしたマイストローを千葉みなと本部で行員向けに販売しました。マイストローを使うことで、プラスチックごみの削減とSDGsの意識向上につなげることを目的としています。



▶ 千産千消リーフレット配布

2021年9月より、学生が作成した「千産千消(地元千葉の産物を千葉で消費する)リーフレット」を全店で配布しています。学生が畑や工場などの見学をし、事業者の努力や想いをインタビュー形式で紹介しています。地産地消の良さを知らずとも、地元産物の購入につなげることで、県内の農業や食品産業の活性化に貢献しています。



▶ 竹林整備体験事業の実施

2021年10月、千葉県長柄町において、千葉大学、特定非営利法人竹もりの里、一般社団法人もりびととの共催で、竹林の間伐や清掃、竹炭・竹粉作りなどの体験を行いました。荒廃した竹林の現状や竹材の利活用する過程について理解を深め、竹林整備が地域の課題解決につながることを学びました。



環境に配慮した取り組み



千葉県の豊かな自然と環境を守り、次世代に引き継ぐための取り組みを行っています。

▶ フードロス削減につながるイベント開催

2021年10月、フードロス削減を目的とした、規格外野菜・加工品の販売イベントを開催しました。多くの方が野菜を手に取り、フードロス問題への関心の高さがうかがえました。



▶ 千葉みなと周辺清掃活動

千葉みなと本部の行員による清掃活動を定期的に年4回行っています。毎回50名以上が参加しており、行員の環境美化への意識を高めるとともに、千葉市が進める市民協働のまちづくりを応援しています。



2021年9月期 業績のご報告(単体)

2021年9月期の業績につきましては、預金・譲渡性預金残高は5兆1,425億円、貸出金残高は3兆8,353億円となりました。

経常利益は、役員取引等収益の増加や与信費用の減少により前年同期比29億1百万円増加し90億円となりました。中間純利益は前年同期比21億35百万円増加し63億58百万円となりました。

預金・譲渡性預金残高

5兆1,425億円
(前年同期比 1,699億円増)

貸出金残高

3兆8,353億円
(前年同期比 809億円増)

住宅ローン残高

1兆6,237億円
(前年同期比 665億円増)

中小企業等向け貸出金残高

3兆1,224億円
(前年同期比 632億円増)

経常利益

90億円
(前年同期比 29億1百万円増)

中間純利益

63億58百万円
(前年同期比 21億35百万円増)

財務諸表(単体)

中間貸借対照表

(単位：百万円)

	第114期 (2019年9月30日現在)	第115期 (2020年9月30日現在)	第116期 (2021年9月30日現在)
資産の部	4,997,834	5,431,437	6,888,018
うち貸出金	3,646,215	3,754,376	3,835,342
うち有価証券	877,704	994,230	1,160,055
資産の部合計	4,997,834	5,431,437	6,888,018
負債の部	4,704,972	5,149,234	6,588,471
うち預金	4,666,266	4,932,581	5,011,302
うち譲渡性預金	16,000	40,000	131,274
純資産の部	292,861	282,203	299,547
うち株主資本合計	252,978	255,789	261,973
負債及び純資産の部合計	4,997,834	5,431,437	6,888,018

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間損益計算書

(単位：百万円)

	第114期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	第115期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	第116期 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
経常収益	34,213	31,593	32,402
うち資金運用収益	23,910	24,125	24,273
うち役員取引等収益	5,079	4,868	6,414
経常費用	28,171	25,494	23,402
経常利益	6,042	6,099	9,000
特別損益	△63	△71	△54
法人税等合計	1,796	1,804	2,588
中間純利益	4,183	4,223	6,358

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(第116期 注記)

- 1株当たり純資産額 2,330円94銭
- 1株当たり中間純利益 49円06銭
- 2021年9月末における単体と連結の総資産の差額は57億円と連結総資産6兆8,937億円と比べ軽微なため、単体のみ表示しています。

▶ 京葉銀行の業績等のご報告

株主の皆さまへ

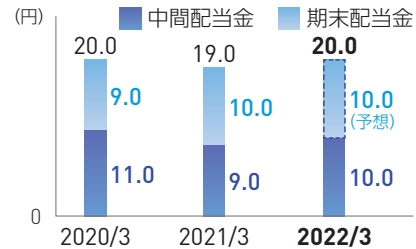
▶ 資本政策の基本的な方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営と内部留保の充実に努めるとともに、ステークホルダーへの適切な利益配分を行います。また、内部留保金については、お客さまへのサービス向上のための設備投資を行うとともに、経営基盤の拡充や経営体質の強化のため有効に活用いたします。

引き続き、財務の健全性、資本効率および株主還元の最適なバランスを追求し、企業価値の向上に努めてまいります。

▶ 年間配当金 (1株当たり)

2022年3月期の1株当たりの中間配当金は、10円といたしました。また、期末配当金予想についても10円に上方修正し、これにより年間配当額は前年実績19円から1円増配し20円となります。



▶ 株主優待制度

株主の皆さまの日頃のご愛顧に感謝するとともに投資魅力を高め、より多くの株主さまに長期的に当行株式を保有していただくことを目的に株主優待制度を導入しています。

満期日前にご解約された場合、当行所定の中途解約利率が適用されます。

※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。

☎ 0120-367-300 受付時間:月～金 9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は除きます)

優待1

ギフトカードの贈呈

● 3月31日において1年以上継続して500株以上保有されている株主さまご本人

株主さまの保有株数に応じて年1回プレゼント!

- 500株以上 2,500株未満 … 1,000円相当
- 2,500株以上 5,000株未満 … 3,000円相当
- 5,000株以上 … 5,000円相当

優待2

株主優待定期預金

● 500株以上保有されている株主さまご本人
● お取扱期間は年2回

スーパー定期

店頭表示金利 +年0.2%

- 500株以上 5,000株未満 … 100万円まで
- 5,000株以上 … 200万円まで

▶ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

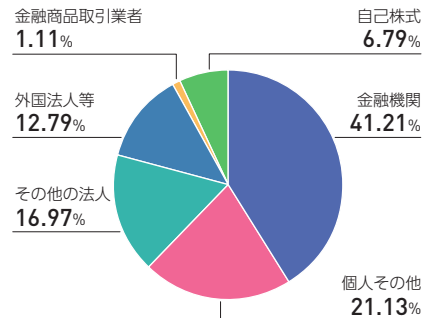
株式数

発行可能株式総数：395,014千株
発行済株式の総数：138,927千株
(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。

株主数

17,047名

▶ 株式の分布状況 (2021年9月30日現在)



▶ 新市場区分における「プライム市場」選択申請

当行は、新市場区分において「プライム市場」の上場基準に適合していることを確認し、株式会社東京証券取引所に対し、「プライム市場」を選択し、申請しました。

▶ 大株主 (2021年9月30日現在)

氏名または名称	持株数等(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,764	7.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,762	5.22
株式会社千葉銀行	6,106	4.71
京葉銀行職員持株会	4,180	3.22
三井住友海上火災保険株式会社	3,759	2.90
住友生命保険相互会社	3,561	2.74
損害保険ジャパン株式会社	3,378	2.60
千葉県民共済生活協同組合	3,100	2.39
明治安田生命保険相互会社	2,969	2.29
住友不動産株式会社	2,509	1.93

(注) 1.左記のほか、当行所有の自己株式9,426千株があります。
2.持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
3.持株比率は自己株式(9,426千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

▶ 株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス https://www.keiyobank.co.jp) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 (郵送物送付先) 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)

京葉銀行公式アカウント

@keiyobank

京葉銀行

YouTube

京葉銀行公式チャンネル

CMやセミナー動画が
ご覧いただけます

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「 α 」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

確かな“きずな”を、未来へ。



京葉銀行

本店

〒260-0015 千葉市中央区富士見 1-11-11

千葉みなと本部

〒260-0026 千葉市中央区千葉港 5-45

TEL.043 (306) 2121

<https://www.keijobank.co.jp/>



2021年11月発行